

研究基盤学

Basic Research Science

キーワード

- ① 研究倫理学
- ② 基礎実験動物学
- ③ 基礎学術発表学
- ④ 基礎医学統計
- ⑤ 研究者キャリアプランニング

授業概要

自立した研究者が備えておくべき基本的な事項には、研究倫理および生命倫理に関する十分な知識、自ら研究課題を設定しそれを解決するための研究手段を構築することができる研究マネジメント能力、研究成果を分かりやすく伝える情報伝達・コミュニケーション能力がある。本科目は、深い学識のもと広い視野で物事を考える力の基礎を涵養することを目的として開講する。さらに、本科目では研究者としてのキャリアプランニングに必要な情報提供も行う。

授業科目の学修目標

本科目では、DP1とDP3の身につけるべき能力について、基礎的な事項を教授し、研究者としての基本的な姿勢を身につけることを目的とする。

授業計画

- (槻木恵一 1コマ)
- ① 研究者として受ける初めての講義であり、研究者とは何かという根源的なテーマをこれまでの高名な研究者を例に挙げ議論する。また、研究不正の防止の観点から、研究者としてあるべき態度を講義する。
- (山本龍生 1コマ)
- ② 疫学研究および臨床研究を行う上で必要な倫理的な事項をはじめ、今後研究者として必要な最も基本的な倫理要件を講義する。
- (浜田信城 1コマ)
- ③ 医学の発展においては、実験で動物を用いることがあり、動物実験を適正に行うための必要な心得と倫理を解説する。また、遺伝子組み換え実験を行う上での必要な倫理的な手続きと守るべきルールを解説する。
- (槻木恵一 1コマ)
- ④ 研究倫理審査委員会への申請の心得と手順について教授する。
- (向井正太 1コマ)
- ⑤ グローバルな歯学研究者コミュニティーにおける共通言語となる医学英語を理解・使用・学習するための基礎的な考え方を講義する。また海外留学のメリット・心得・準備についての基本的な理解を図る。
- (槻木恵一 1コマ)
- ⑥ 研究者には、近年の国際競争力の源である知的財産に対する深い理解が求められている。そこで本講義では、知的財産の保護と活用法を解説する。
- (山本龍生 1コマ)
- ⑦ 研究者は、歯学研究における大学と企業との関係について熟知する必要があり、利益相反の原理やその運用について解説すると同時に基本的なルールを講義する。
- (木本茂成 1コマ)
- ⑧ コーチングの理論と歯学教育について講義する。
- (木本克彦 1コマ)
- ⑨ 研究者には、その研究成果を公開することが求められており、学術論文はその重要なツールである。そこで、学術論文に関する基本的な事項を解説すると同時に文献検索の意義と方法、さらに管理法について、学術発表演習を受講するための基礎的な事項を講義する。
- (猿田樹理 1コマ)
- ⑩ 研究発表は、その内容を分かりやすく正しく伝えることが重要である。本講義ではプレゼンテーションのテクニックを教授する。
- (山本龍生 1コマ)
- ⑪ 統計の基本的な考え方や、使い方について概説する。特に、医学統計演習を受講するための基礎的な事項を講義する。
- (佐々木悠 1コマ)
- ⑫ 海外における臨床研究の事例紹介を行うと同時に、世界で活躍する研究者を招聘し、国際的な研究活動について講義する。
- (東 雅啓 1コマ)
- ⑬ 大学院に設置されている様々な機器の特徴を解説すると同時に解析の原理について講義する。
- (槻木恵一 1コマ)
- ⑭ 研究者としてのキャリアプランニングについて講義する。
- (高橋俊介 1コマ)
- ⑫ 1～14回の講義を振り返り、総合学修を行う。

教科書および参考書

特になし

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

毎回の講義を受講し、レポートをその日に作成すること。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 研究倫理の基礎を説明できる。
- ② 疫学研究および臨床研究の基本的倫理要件を説明できる。
- ③ 実験動物の取り扱い方を説明できる。
- ④ 公的研究の意義と責任を説明できる。
- ⑤ 知的財産の保護について説明できる。
- ⑥ 利益相反の原理を説明できる。
- ⑦ 学術論文の概要を説明できる。
- ⑧ 学術発表の要点を説明できる。
- ⑨ 医学統計の基礎を説明できる。
- ⑩ 海外での研究者の研究活動について説明できる。
- ⑪ 先端精密機器の取り扱いについて説明できる。
- ⑫ 振り返り知見をまとめることができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポート フォリオ	口頭試問	その他
40%	30%	30%	0%	0%	0%	0%

評価の要点

小テスト(15回×2% : 30%)とレポート(15回×2% : 30%)は、授業終了後、毎回行う。※ビデオ視聴の回は0点
最終第15回にまとめ試験を行う(1回40%)

理想的な達成レベルの目安

研究倫理をはじめとする重要な基本項目に関する科目であり、90%以上を理想的な達成レベルとする。